

Ⅱ 調査結果の概要

1. 観光入込客延べ数

平成 25 年の島根県の観光入込客延べ数は 36,809 千人であり、前年と比べると、7,621 千人（+26.1%）増加した。

〈観光入込客延べ数〉

区 分	総 数	内 訳	
		県内客	県外客
観光入込客延べ数（千人地点）	36,809	7,851	28,958
構成比（%）	100.0	21.33	78.67
対前年増減（%）	+26.11	+3.33	+34.13

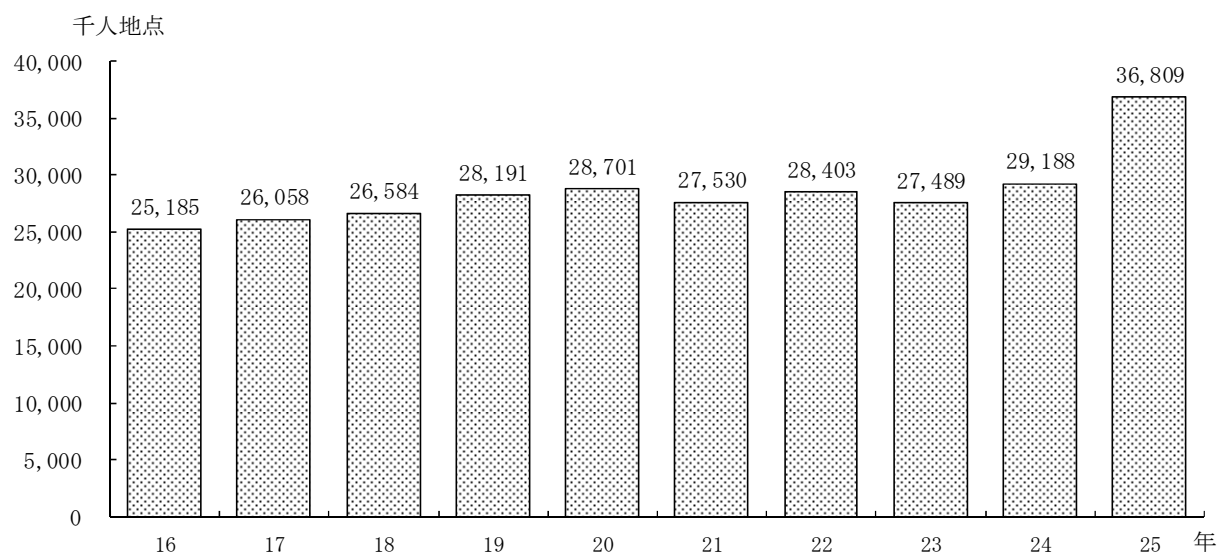
注）県内客・県外客の別は、観光入込客延べ数に観光地点アンケート調査で得られた県内客・県外客の割合を乗じて算出した。

注）本調査結果での率の合計については、端数処理のため 100%にならない場合がある。

【主な変動要因】

- ①出雲大社「平成の大遷宮」の効果による増。
- ②松江自動車道全線開通の効果による増。
- ③石見地域での大雨災害による減。

〈観光入込客延べ数の推移〉



2. 観光入込客実人数

観光入込客延べ数をもとに観光地点アンケート調査等で得られた数値により推計した観光入込客実人数は、16,325 千人であり、前年と比べると、3,630 千人（+28.6%）増加した。

〈観光入込客実人数〉

区 分	総 数	宿 泊 客		日 帰 り 客	
		県内客	県外客	県内客	県外客
観光入込客実人数(千人回)	16,325	125	2,785	5,122	8,293
構成比(%)	100.0	0.77	17.06	31.38	50.80
対前年増減(%)	+28.59	+15.55	+10.21	+11.70	+51.47

3. 観光消費額及び経済波及効果

観光地点アンケート調査で得られた、観光消費額単価に観光入込客実人数を乗じて推計した平成 25 年の全県の観光消費額は、約 1,564 億円であり、前年に比べると約 298 億円（+23.6%）増加した。

この観光消費額が県内に及ぼす経済波及効果（直接効果、一次波及効果、二次波及効果の和）は、1.21 倍の約 1,899 億円と推計され、前年に比べ約 366 億円（+23.9%）増加した。

注）経済波及効果は、平成 20 年島根県産業連関表を用いて推計。

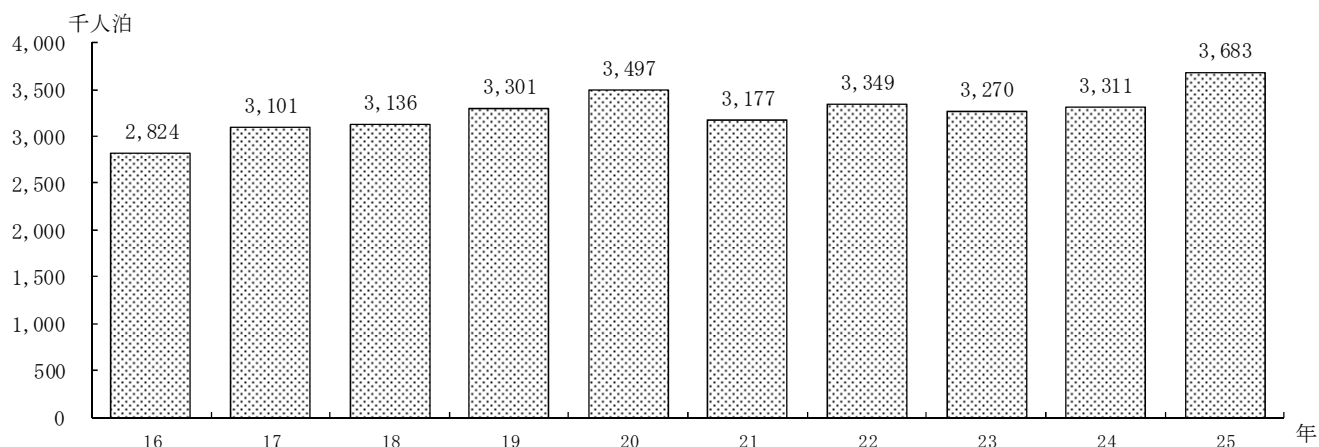
○ 1 人当たり消費額

区 分	観光消費額単価 (円)		観光消費額 (百万円)
		対前年増減	
県内客・宿泊	16,697	-3.4%	2,088
県外客・宿泊	24,721	-4.7%	68,842
県内客・日帰り	3,851	+5.2%	19,725
県外客・日帰り	7,925	+2.4%	65,726
計	—	—	156,381

4. 県内宿泊客延べ数

平成 25 年の県内宿泊施設への宿泊客延べ数は、3,683 千人であり、前年と比べると、372 千人（+11.2%）増加した。

〈宿泊客延べ数の推移〉



区 分	ホテル 旅館	民 宿 ペンション	社会教育 施設	公共の 宿泊施設	キャンプ場	合 計
宿泊延べ数 (人泊)	3,215,278	100,102	67,071	193,475	107,026	3,682,952
構成比 (%)	87.3%	2.7%	1.8%	5.3%	2.9%	100.0%
対前年増減 (%)	+12.7%	-2.6%	-3.2%	+0.8%	+12.3%	+11.2%

5. 外国人宿泊客延べ数

平成 25 年の島根県の外国人宿泊客延べ数は、24,178 人で、前年と比べ、1,871 人 (+8.4%) の増加となった。特に香港については前年と比べ 1,822 人 (+964.0%) 増加した。

〈外国人宿泊客延べ数〉

国 籍	宿泊客延べ数		対前年増減 (%)
	(人泊)	構成比 (%)	
韓 国	5,278	21.8%	+8.6%
台 湾	4,256	17.6%	-27.9%
ヨ ー ロ ッ パ	3,597	14.9%	-12.8%
米 国	3,169	13.1%	+23.4%
中 国	2,310	9.6%	+4.1%
香 港	2,011	8.3%	+964.0%
その他・アジア	647	2.7%	-9.8%
オセアニア	481	2.0%	+10.8%
中 南 米	506	2.1%	+421.6%
カ ナ ダ	353	1.5%	+132.2%
ア フ リ カ	34	0.1%	+142.9%
そ の 他	1,536	6.4%	+49.1%
合 計	24,178	100.0%	+8.4%

6. 観光入込客延べ数の分析

(1) 主要観光地観光入込客延べ数

市町村及び観光地・観光施設ごとの観光入込客延べ数の上位 10 箇所は、以下のとおりである。

〈市町村〉

市町村名	入込延べ数 (人地点)	対前年増減 (%)
出雲市	15,758,052	+51.0%
松江市	10,131,358	+20.1%
浜田市	1,845,435	-5.9%
安来市	1,581,555	+21.0%
大田市	1,556,339	+8.5%
雲南市	1,438,301	+48.9%
津和野町	1,111,133	-8.5%
益田市	983,847	+0.9%
奥出雲町	788,449	+1.0%
邑南町	438,925	-1.7%

〈観光地・観光施設〉

観光地・観光施設名	入込延べ数 (人地点)	対前年増減 (%)
出雲大社 (出雲市)	8,040,000	+130.8%
日御碕 (出雲市)	1,562,000	+56.2%
島根ワイナリー (出雲市)	1,157,449	+37.1%
玉造温泉 (松江市)	753,580	+28.5%
三瓶山 (大田市)	673,542	+14.6%
足立美術館 (安来市)	658,324	+50.2%
石見海浜公園 (浜田市)	599,510	-5.6%
道の駅キララ多伎 (出雲市)	529,652	+1.3%
太鼓谷稲成神社 (津和野町)	520,217	-7.5%
石見銀山 (大田市)	511,600	+18.4%

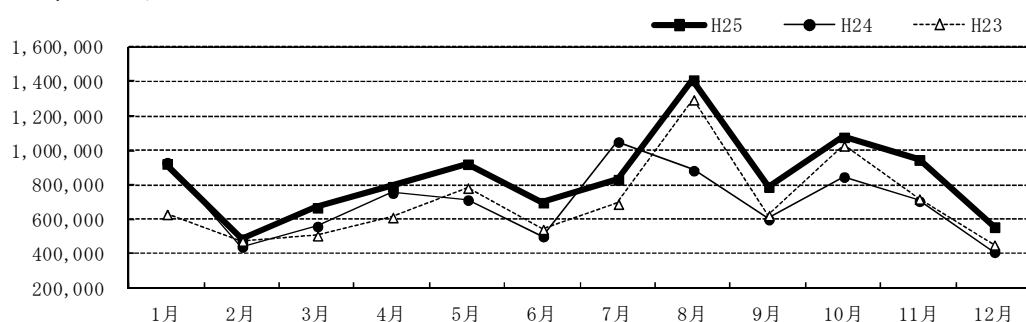
(2) 地域別観光入込客延べ数

地域別に観光入込客延べ数を比べると、最も多いのが出雲地域の 15,758 千人 (+51.0%)、次いで松江地域で 10,131 千人(+20.1%)、雲南地域の 2,533 千人(+20.6%)、益田地域の 2,352 千人(-3.8%)、浜田地域の 2,141 千人(-5.7%)、大田地域の 2,126 千人(+6.4%)、安来地域の 1,582 千人(+21.0%)、隠岐地域の 186 千人(-8.1%) の順となった。

前年と比較して、出雲地域は出雲大社の「平成の大遷宮」の効果により大幅に増加した外、松江地域、雲南地域、大田地域、安来地域も増加となった。対して、益田地域、浜田地域、隠岐地域は減少した。

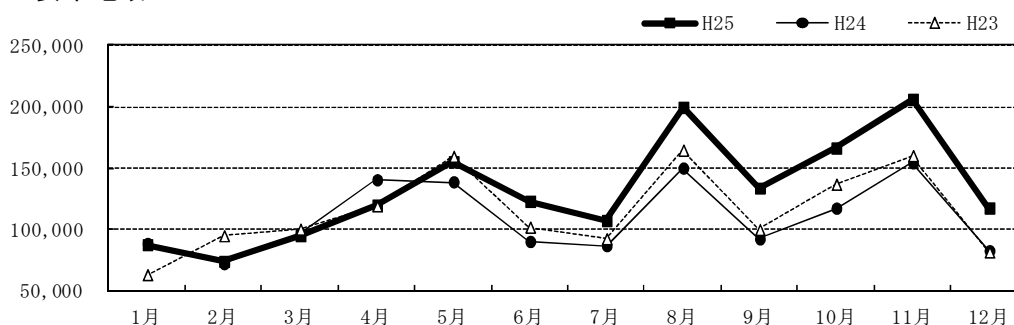
<地域別月別観光入込客延べ数>

松江地域



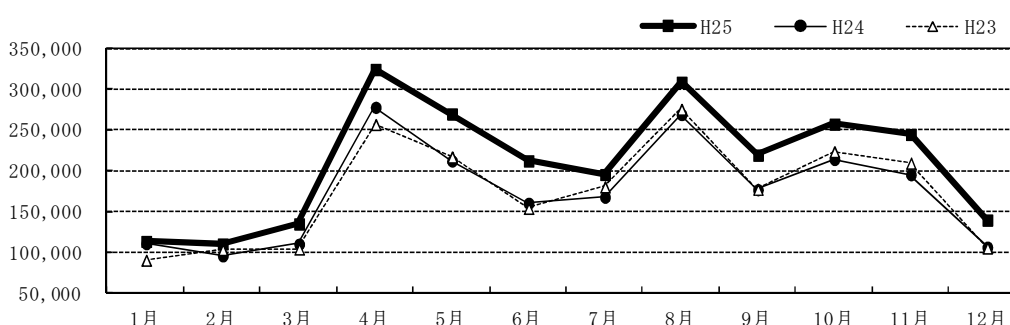
年	入り込み数
H25	10,131,358
H24	8,432,299
H23	8,386,621
対比	増減
H25対H24	+20.15%
H25対H23	+20.80%

安来地域



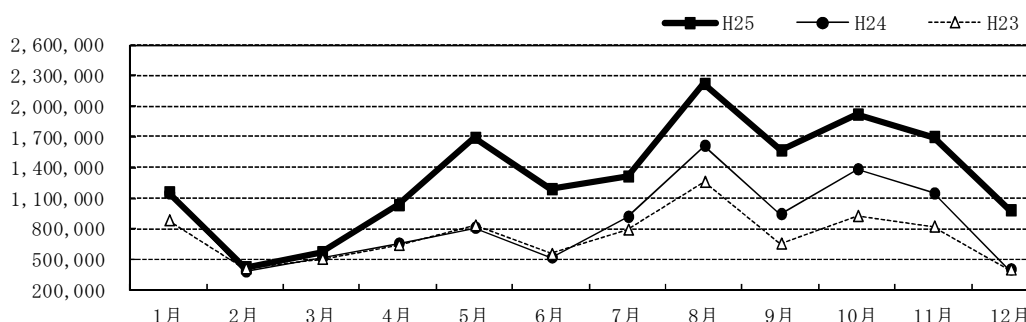
年	入り込み数
H25	1,581,555
H24	1,307,029
H23	1,371,098
対比	増減
H25対H24	+21.00%
H25対H23	+15.35%

雲南地域



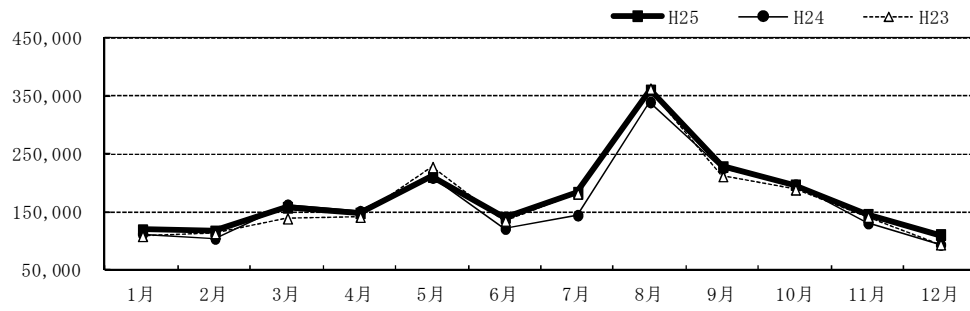
年	入り込み数
H25	2,532,601
H24	2,099,143
H23	2,099,648
対比	増減
H25対H24	+20.65%
H25対H23	+20.62%

出雲地域



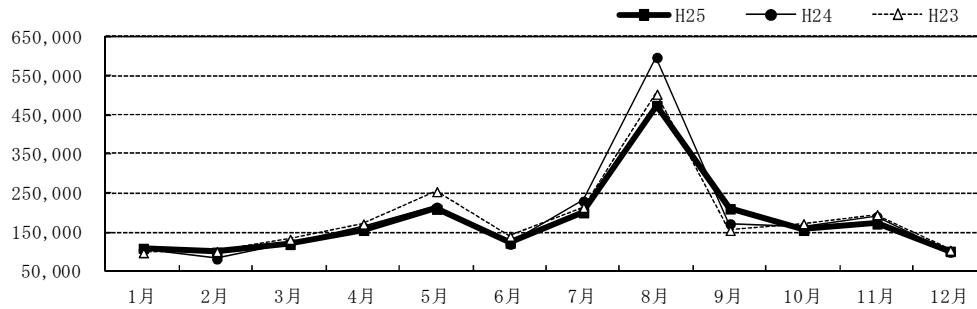
年	入り込み数
H25	15,758,052
H24	10,435,869
H23	8,692,786
対比	増減
H25対H24	+51.00%
H25対H23	+81.28%

大田地域



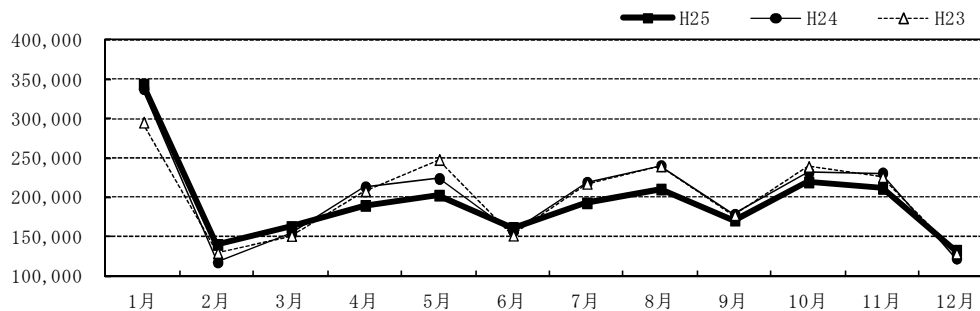
年	入り込み数
H25	2,126,491
H24	1,997,669
H23	2,051,649
対比	増減
H25対H24	+6.45%
H25対H23	+3.65%

浜田地域



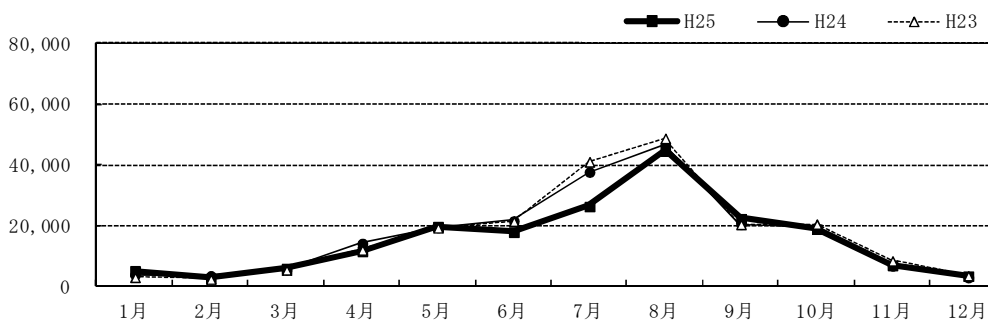
年	入り込み数
H25	2,140,906
H24	2,269,111
H23	2,252,544
対比	増減
H25対H24	-5.65%
H25対H23	-4.96%

益田地域



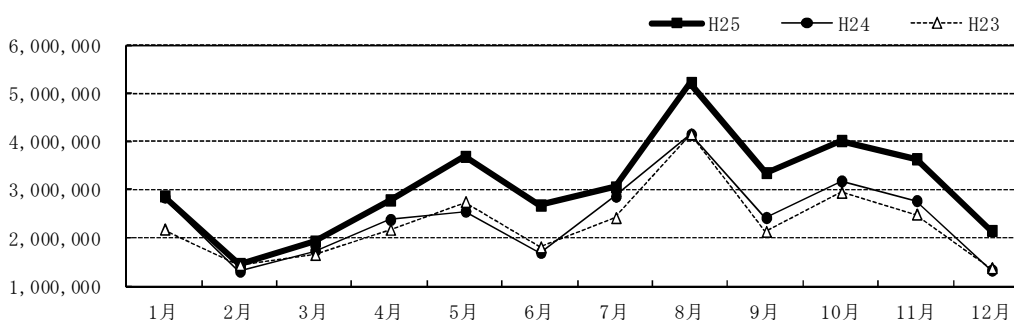
年	入り込み数
H25	2,352,104
H24	2,444,752
H23	2,411,415
対比	増減
H25対H24	-3.79%
H25対H23	-3.09%

隠岐地域



年	入り込み数
H25	185,866
H24	202,200
H23	206,941
対比	増減
H25対H24	-8.08%
H25対H23	-10.18%

全県

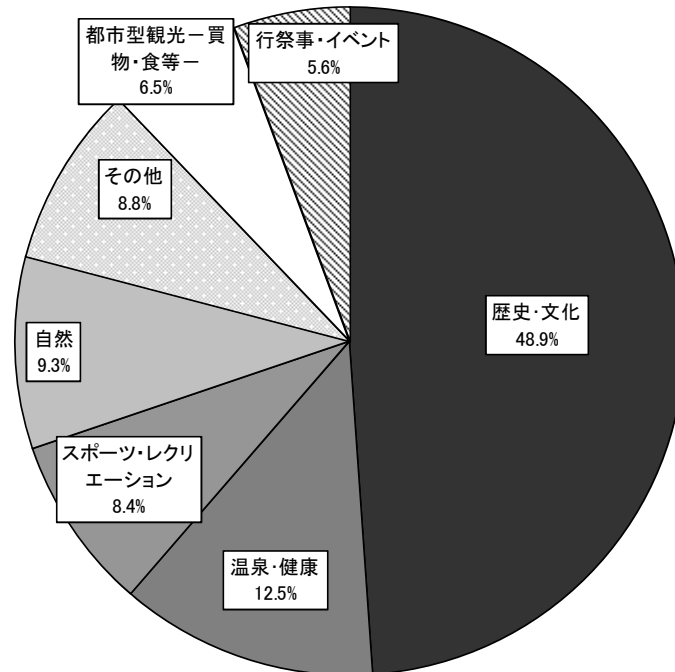


年	入り込み数
H25	36,815,359
H24	29,188,072
H23	27,488,511
対比	増減
H25対H24	+26.13%
H25対H23	+33.93%

(3) 行動目的別観光入込客延べ数

観光客の行動目的別（中分類）に入込延べ数を集計の上比較すると、最も多いのが「歴史・文化」で全体の約49%、次いで「温泉・健康」の12.5%、「スポーツ・レクリエーション」の8.4%となっており、この上位3項目で全体の約7割（69.8%）を占める。

《行動目的別割合》



行動目的 (中分類)	入込延べ数 (人地点)	対前年増減 (%)
歴史・文化	18,000,132	+54.2%
温泉・健康	4,585,081	+10.2%
スポーツ・レクリエーション	3,106,518	-0.4%
自然	3,428,483	+29.6%
その他	3,230,754	+17.5%
都市型観光－買物・食等－	2,393,558	+23.6%
行祭事・イベント	2,070,833	-29.0%

《行動目的別（小分類）入込数の上位5区分（その他除く）》

中分類	小分類	入込延べ数 (人地点)	対前年増減 (%)
歴史・文化	神社・仏閣	11,744,649	+74.0%
温泉・健康	温泉	4,585,081	+10.2%
歴史・文化	博物館	2,546,502	+38.3%
自然	海岸	1,999,942	+40.3%
都市型観光	食・グルメ	1,449,516	+39.2%

7. 観光客の動向（観光地点アンケートによる）

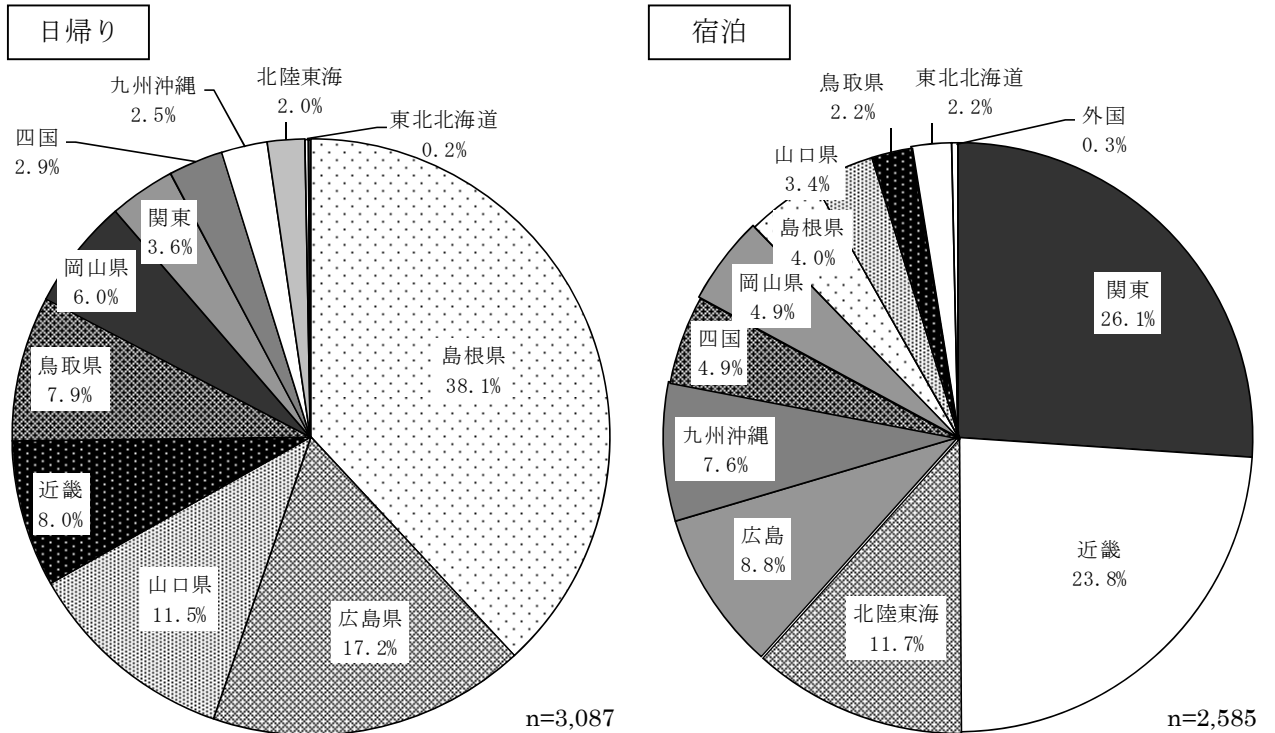
平成 25 年観光地点アンケート調査によって得られたデータをもとに、観光客の動向を分析する。

(1) 発地（住所）

ア. 日帰り・宿泊別入り込み割合

日帰りでは、島根県が最も多く 38.1%、次いで広島県 17.2%であった。島根県は昨年から 7.1 ポイント減少しており、県外の割合が高くなっている。

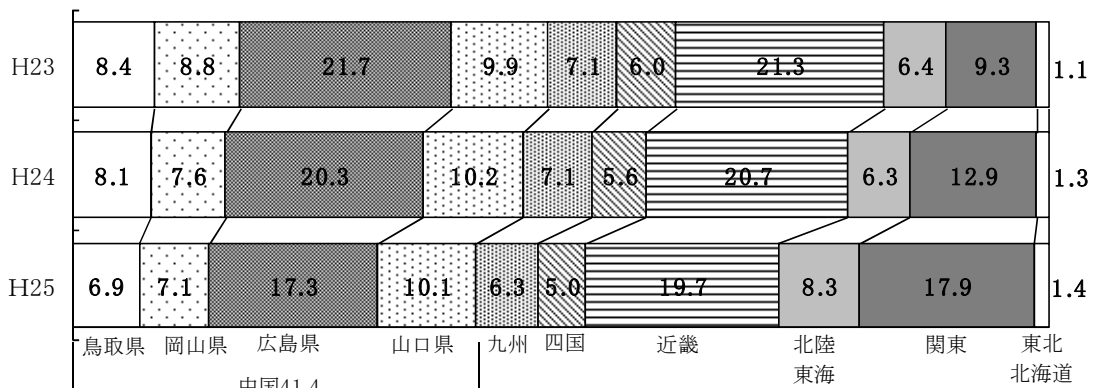
宿泊では、関東が最も多く 26.1%、次いで近畿 23.8%であり、昨年と順位が逆転している。いずれも、中国 5 県の 23.3%を上回っている。



イ. 県外観光入込客割合

県外客の発地別入り込み割合は、近畿からが最も多く 19.7%、次いで関東 17.9%、広島県 17.3%の順となっている。中国 4 県を合わせると全体の約 4 割(41.4%)を占めている。過去 2 年間で比べると関東が増加傾向にあり、昨年と比較すると 5 ポイント増加している。

〈県外観光客発地別入込客割合の推移 (%)〉

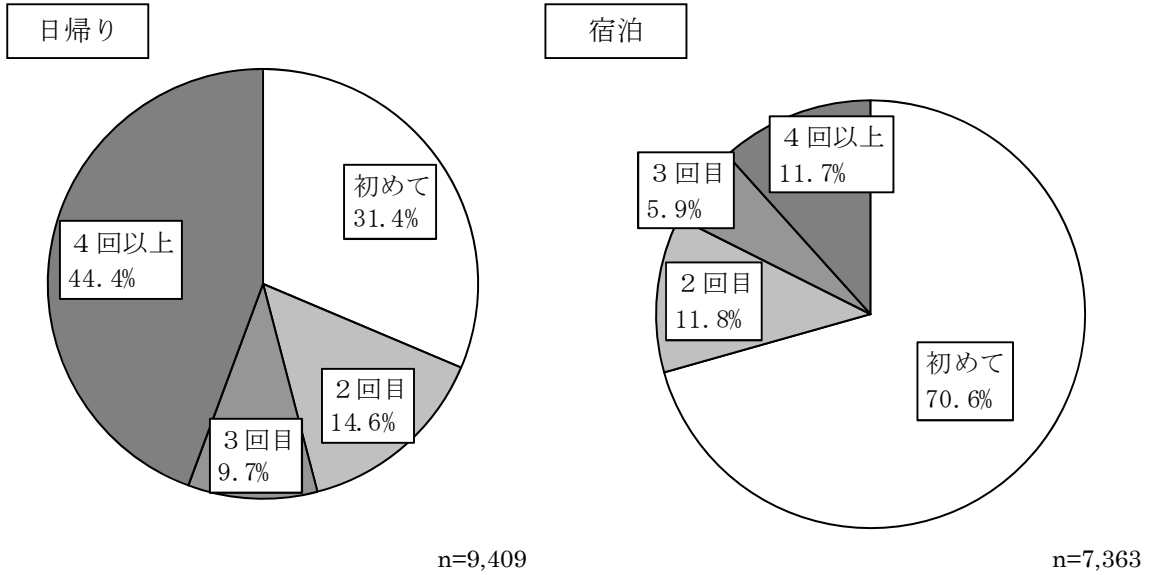


n=4,380

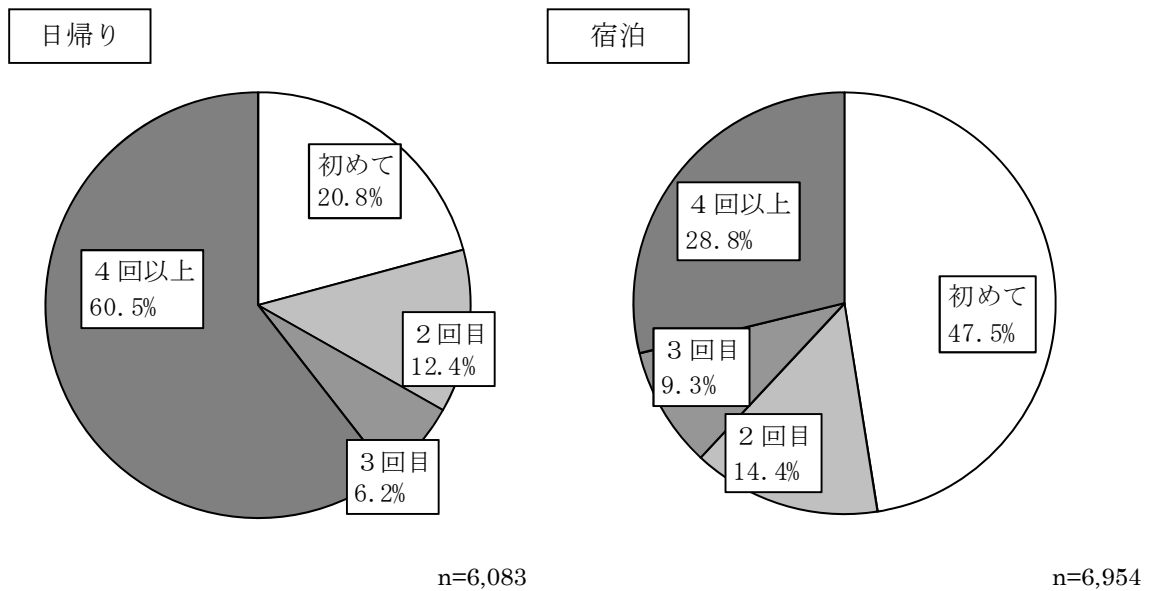
(2) 旅行回数

観光施設への訪問回数は、日帰りの場合は「4回以上」が最も多く、宿泊の場合は「初めて」が多い。島根県への訪問回数も同様の傾向であるが、「初めて」の割合は大きく下がる。

①観光施設の訪問回数

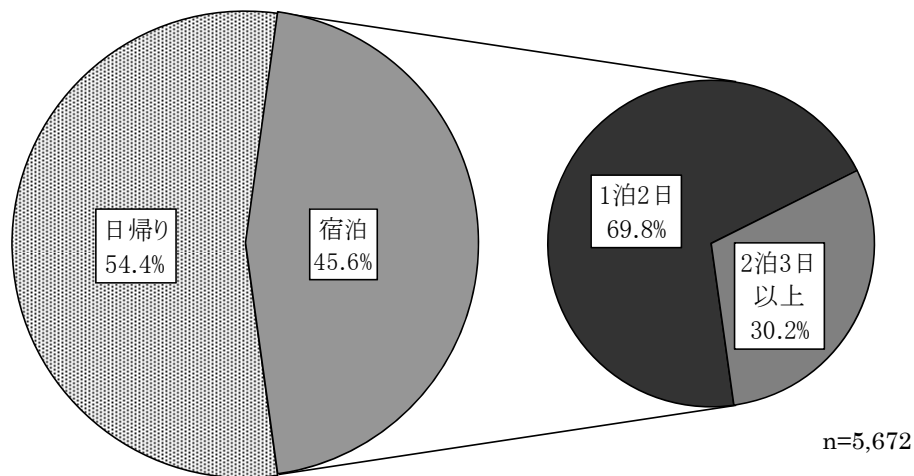


②島根県の訪問回数（なお、この項目は県外客のみに島根県への訪問回数を質問している。）



(3) 旅行日程

「日帰り」が54.4%、「宿泊」が45.6%と、日帰り客の割合が高くなっている。宿泊客のうち、約7割(69.8%)が1泊2日となる。

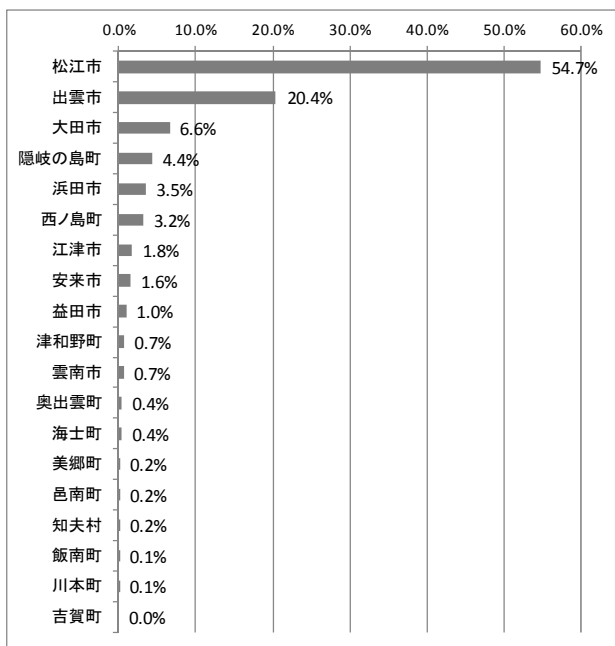


(4) 宿泊する市町村及び宿泊施設

宿泊する市町村では「松江市」が54.7%、次いで「出雲市」が20.4%となっており、全体の約8割(75.1%)を占めている。

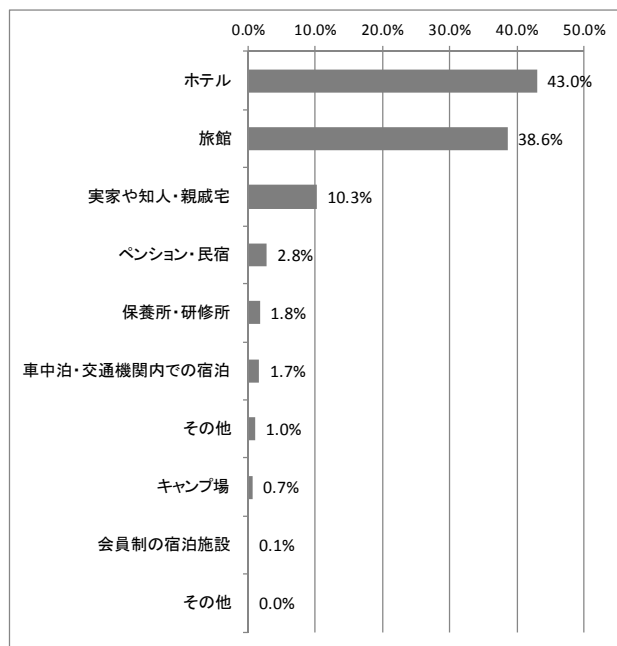
宿泊施設では「ホテル」が43.0%、次いで「旅館」が38.6%となっており、全体の約8割(81.6%)を占めている。

《市町村》



n=3,214

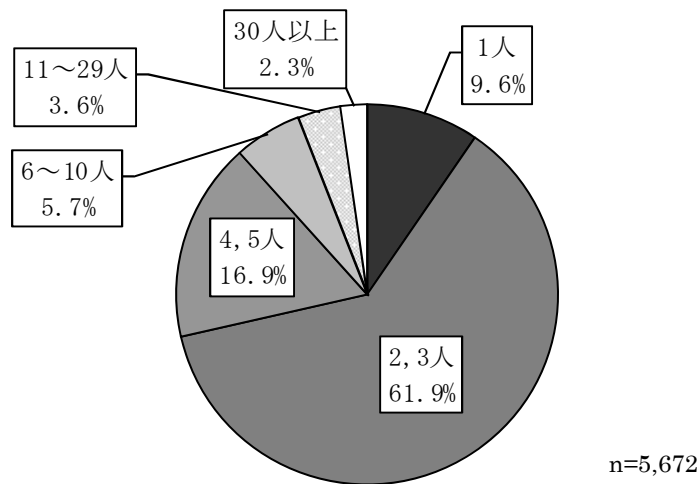
《宿泊施設》



n=3,214

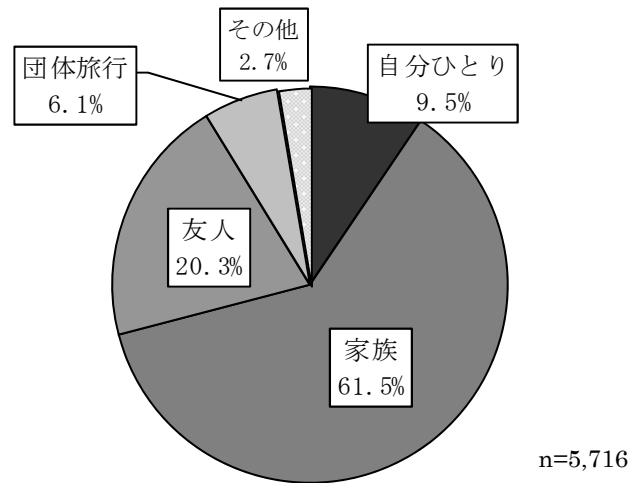
(5) 同行人数

「2、3人」が最も多く全体の約6割（61.9%）を占めている。



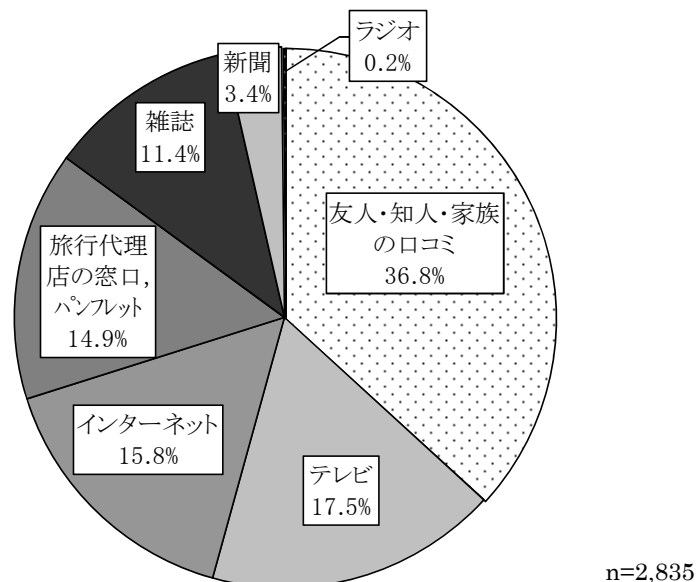
(6) メンバー構成

「家族」が最も多く 61.5%、次いで「友人」が 20.3%であった。



(7) 旅行地を決定する際にきっかけとなった情報源

旅行地の情報を知っていた（その他を回答）を除くと、「友人・知人・家族のロコミ」が最も多く約4割（36.8%）を占めている。次いで「テレビ」（17.5%）であった。「テレビ」は昨年から5.5ポイント増加した。

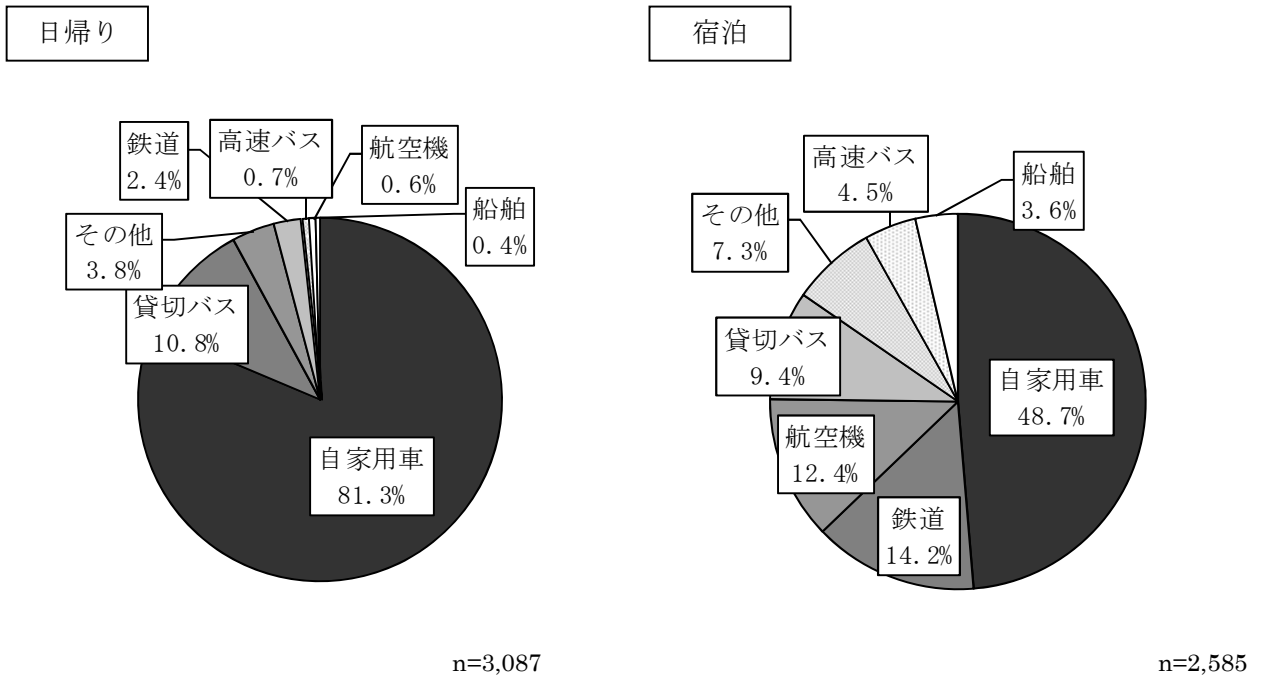


(8) 利用交通機関

ア. 日帰り・宿泊別入り込み割合

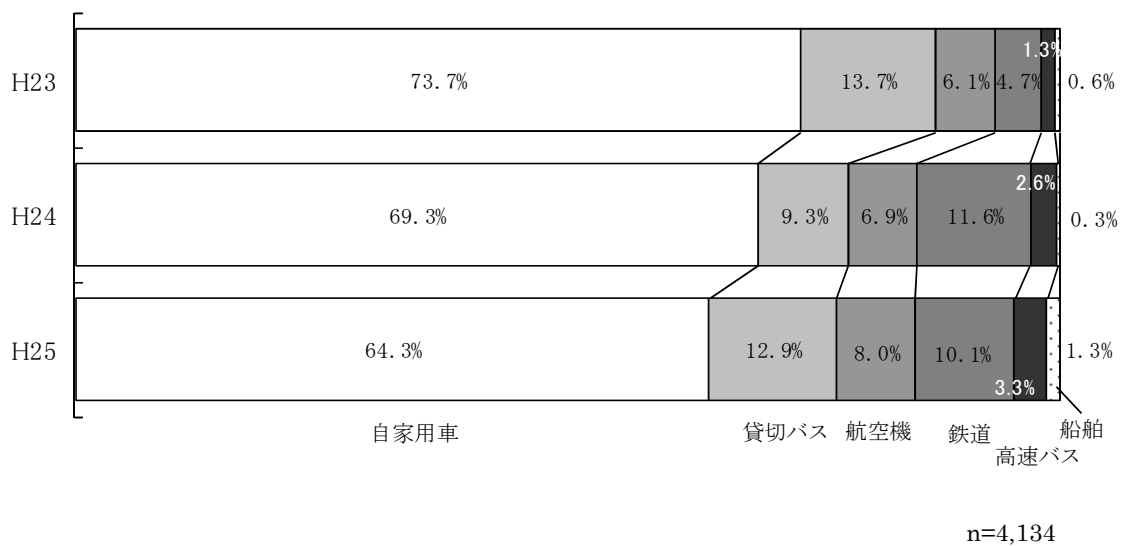
日帰りでは、「自家用車」が約8割(81.3%)を占めている。

宿泊では、「自家用車」が約5割(48.7%)、「鉄道」(14.2%)、「航空機」(12.4%)と続く。



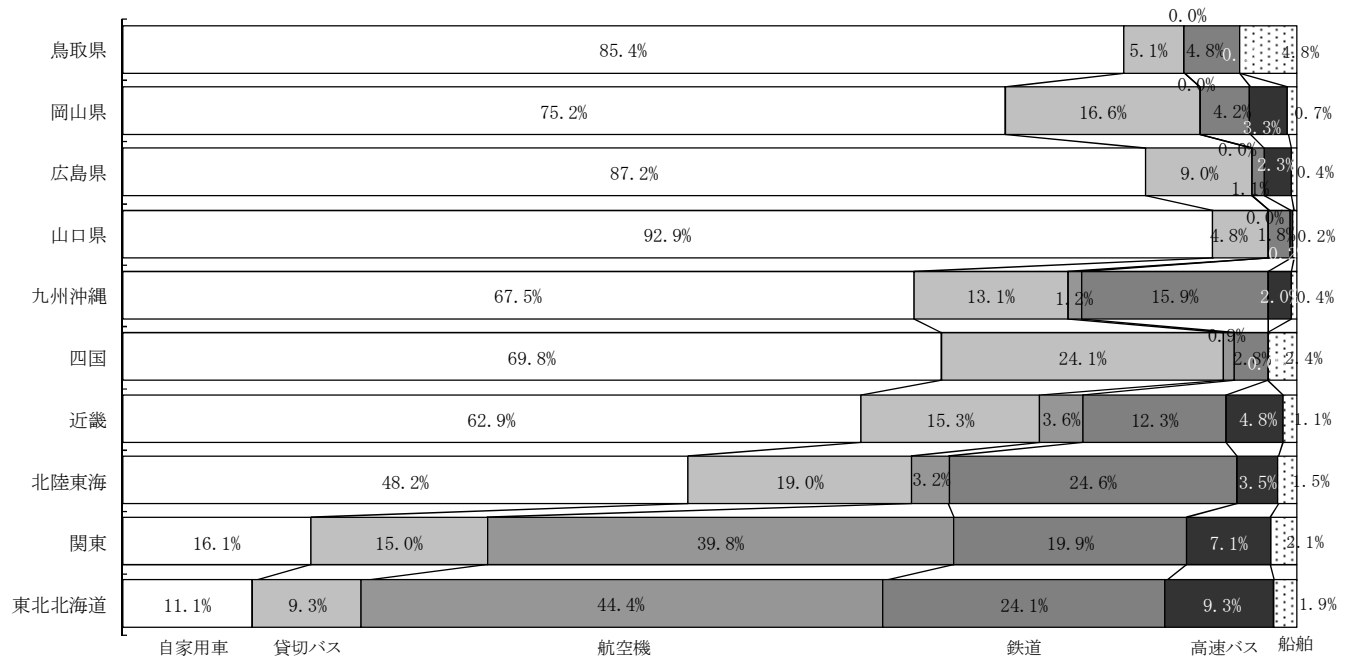
イ. 県外観光客入り込み割合

県外客について利用交通機関別にみると、「自家用車」が最も多く全体の約6割(64.3%)を占め、次いで「貸切バス」、「鉄道」の順となっている。



ウ. 地域別(県外)移動手段別割合

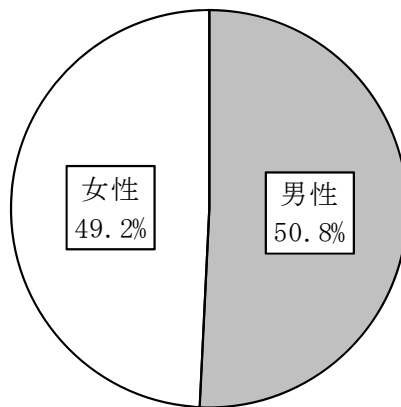
県外客について地域別にみると、中国、九州、四国、近畿では「自家用車」が5割以上を占め、関東、東北北海道では「航空機」が最も高くなっている。



(9) 性別

n=4,134

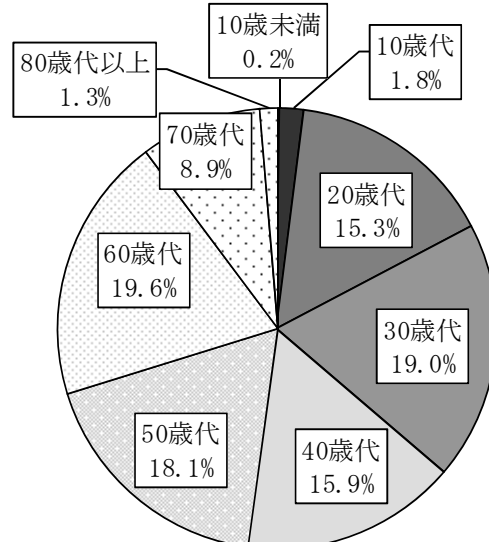
「男性」が約5割(50.8%)、「女性」が約5割(49.2%)とほぼ同等であった。



n=5,672

(10) 年齢

30歳代から60歳代が約2割ずつを占めている。

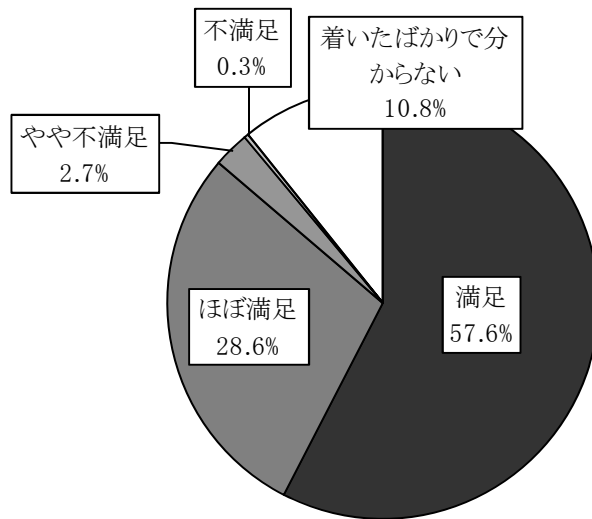


n=5,672

(11) 満足度

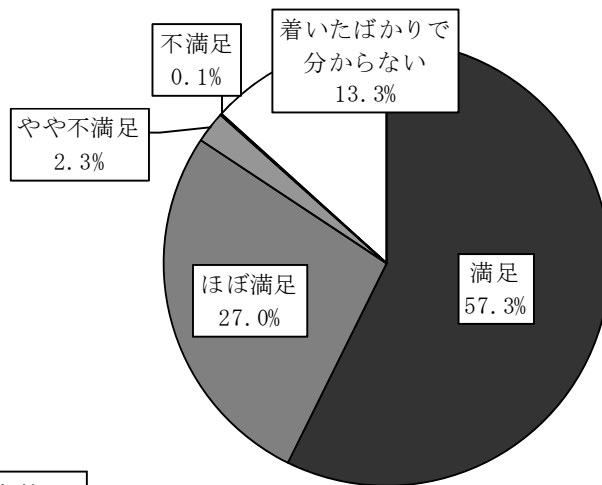
日帰り宿泊ともに、「満足」と「ほぼ満足」を合せると8割以上であった。
一方、「やや不満」と「不満」を合せると全体の約3.0%であった。

日帰り



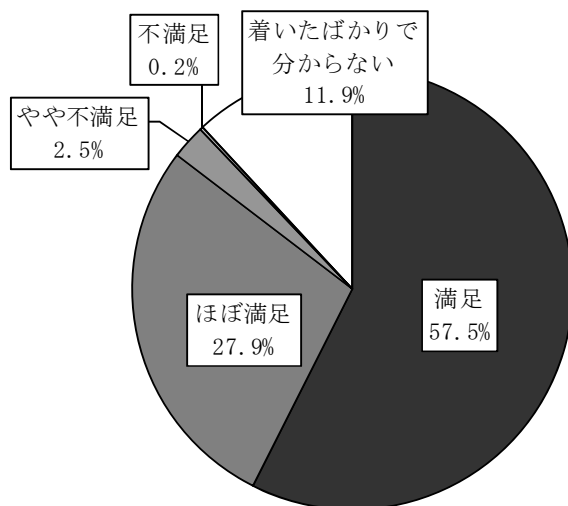
n=3,087

宿泊



n=2,585

全体



n=5,672